



発行 社会福祉法人 尾張旭市社会福祉協議会

〒488-0074 尾張旭市新居町明才切57番地 保健福祉センター内 TEL 54-4540 FAX 51-1880

ホームページ <http://www.owariasahishakyo.jp/> 社協だよりやその他の社協情報はホームページでもご覧になれます。

尾張旭市の 赤い羽根共同募金

愛ちゃんと希望くん



©中央共同募金会



▲昨年の街頭募金運動

令和4年度
赤い羽根共同募金目標額
6,100,000円

・一般募金…………… 5,300,000円
(内テーマ設定型募金…… 100,000円)
・歳末たすけあい募金…… 800,000円



赤い羽根共同募金は、社会福祉法第112条の規定に基づいて、毎年1回、厚生労働大臣の定める期間内に行う寄付金の募集で、地域福祉の推進を図るための財源となります。尾張旭市共同募金委員会では、10月1日(土)～令和5年3月31日(金)の6か月間実施します。運動期間初日の10月1日(土)から順次、市内の各スーパーで新型コロナウイルス感染症の感染予防対策をとりながら街頭募金を行います。また、令和5年1月1日(日)～3月31日(金)は、「障がいや疾患などにより移動が困難なかたの外出手段支援」をテーマに、社会福祉協議会が行う車いす貸出事業の充実を図るための募金運動を行います。

共同募金は、募金された地域の福祉事業に活用される、子どもから高齢者まで、さまざまな地域住民が参加できる最も身近な社会貢献の仕組みで、一人ひとりの善意によって「じぶんの町を良くするしくみ。」(中央共同募金会標語)につながります。

ぜひ、皆さんのあたたかい善意をお寄せください。なお、尾張旭市共同募金委員会事務局(社会福祉協議会内)及び市役所にも募金箱を設置していますのでご協力をお願いします。

contents (主な項目)

- 赤い羽根共同募金
- 第74回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール
- ボランティアセンターからのお知らせ
- あさひ支えあいサロン開設助成事業
- あさひ生活応援サービス

- 知るサポだよりNo.30
- 家庭介護教室
- 日常生活自立支援事業
- フードドライブ事業
- 寄付者一覧



『じぶんの町を 良くするしくみ。』って どういうこと？

市内で寄付していただいた共同募金は、その募金をした市内の社会福祉協議会に約7割が配分され、さまざまな地域福祉事業に活かされることから、この標語がつけられています。

ぜひ「尾張旭市内」での募金をお願いします。



共同募金は どのように行われて いるの？

【戸別募金】

連合自治会、自治会、町内会を通じて、各世帯に赤い羽根と募金封筒を配布してお願いします。

【街頭募金】

スーパーなどで、地域のボランティアのかたがたにご協力いただいて実施します。

【法人募金】

企業や事業所に寄付を呼びかけています。

【職域募金】

企業、団体、官公庁などの職場で、お勤めのかたにお願いします。

【学校募金】

小学校の児童会や、中学校、高等学校の生徒会を通じて児童・生徒にお願いします。

【テーマ設定型募金】

障がいや疾患などにより移動が困難なかたの外出手段支援をテーマに設定し、イベントなどで募金を呼びかけます。



共同募金は どのようなことに使 われているの？

【地域福祉推進のために】

校区社会福祉推進協議会の活動支援／福祉のまちづくり推進助成事業

【高齢者のために】

高齢者趣味の作品展への協賛やシニアクラブ活動支援／ボランティア給食サービス事業／敬老肖像写真の贈呈事業／高齢者サロンの活動支援

【障がいのあるかたのために】

点訳・音訳・要約筆記を行う団体の支援／行事の支援／施設の支援／おもちゃ図書館の運営

【子どもたちのために】

青少年健全育成団体の活動支援／社会を明るくする運動の支援／赤い羽根こころの文庫の設置／児童養護施設の支援／民間学童クラブの活動支援／子育てサロンの活動支援／子ども食堂の支援



【歳末たすけあい】

要保護・準要保護家庭児童生徒の支援／養護施設入所児童生徒の支援

【外出手段支援のために】

障がいや疾患などにより移動が困難なかたの外出支援(テーマ設定型募金)

【全県域の福祉推進のために】

社会福祉施設の整備費／社会福祉団体の事業費／募金運動推進活動費など

共同募金の寄付には、 税制上の優遇措置があります。

◎個人の寄付

寄付金額によっては、所得税、住民税の寄付金控除の対象となります。

◎法人の寄付

株式会社などの法人の寄付は、全額損金扱いとなります。

※優遇措置の詳細につきましては、税務署にお尋ねください。

下記の二次元バーコードから、「尾張旭市共同募金委員会」へ寄付ができたり、寄付金の使いみちを見たりすることができます。



尾張旭市共同募金委員会では、今年も市内小・中学校の児童生徒の皆さんから書道及びポスターを募集し、書道964点、ポスター402点の応募がありました。

そのうち、次の作品が尾張旭市文化協会会員の審査を経て、愛知県共同募金会への推薦作品に選ばれました。多数のご応募ありがとうございました。なお、推薦作品は11月1日(火)～11月18日(金)の間、尾張旭市保健福祉センターにて展示します。

書道の部(順不同・敬称略)



東栄小学校 3年
高橋 瑠花



旭丘小学校 5年
石川 明咲



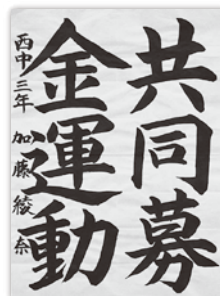
三郷小学校 5年
渡邊 心結



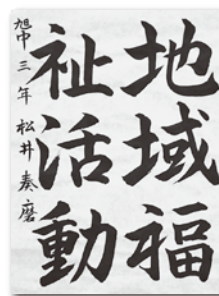
旭小学校 6年
古川 菜々



東中学校 2年
関 亜悠



西中学校 3年
加藤 綾奈



旭中学校 3年
松井 奏磨

ポスターの部(順不同・敬称略)



東栄小学校 3年
金子 蔵ノ介



三郷小学校 6年
林 義輝



東中学校 2年
船橋 美結



白鳳小学校 3年
石黒 丈太郎



旭小学校 3年
伊藤 瑞姫



本地原小学校 6年
城山 実央子



渋川小学校 6年
山崎 陽香

ボランティアセンターからのお知らせ

利用時間 午前9時～午後5時 ※土・日曜日、祝・休日を除く TEL 51-5535 FAX 51-5543
尾張旭市渋川町三丁目5番地7 渋川福祉センター内

ボランティア サロンのご案内

あさひ健康
マイスター
チャレンジ
対象事業

ボランティアセンターでは、ボランティア活動に興味をお持ちのかたや、すでに活動をされているかたを対象に右表のとおり「ボランティアサロン」を毎月1回開催しています。この機会にぜひ、ボランティア活動に触れてみませんか。

○申し込み及び問い合わせ先

渋川ボランティアセンター

〈11月・12月・令和5年1月のボランティアサロン〉

と き	11月15日(火) 午前10時～11時30分	12月8日(木) 午前10時～11時30分	令和5年1月19日(木) 午前10時～正午
ところ	渋川福祉センター 2階 くすのきホール	渋川福祉センター 1階 会議室	渋川福祉センター 1階 会議室
内 容	みんなで楽しく 音楽悩トレ!	和紙のくすみ絵づくり ～千支のミニ色紙～	生活に役立つ傾聴 ～聴くことの大切さを 感じてみよう～
講 師	杉浦由香里さん 神尾真貴子さん	水野道子さん	うさぎの会
参加費	無料	300円	無料
定 員	30人	10人	15人

※定員を超えた場合は、抽選になることがあります。

第2回

ふくし探検隊 ～尾張旭市のやさしいところを探してみよう～

あさひ健康
マイスター
チャレンジ
対象事業



▲みんなでふくしマップ作りの様子

市内在住の小学5・6年生を対象に、「ふくし」について学ぶ第2回福祉教育講座を開催します。

この講座は、子どもたちが屋外施設などでの車いす体験や参加者同士の話し合いを通じて「支え合うこと、ともに生きること」の大切さや人を思いやる優しい心を育む

機会になってほしいと願い開催するものです。

車いすユーザーの講師や、愛知県立大学学生ボランティアの皆さんと一緒に「ふくし」について学び、尾張旭市が住みよいまちになるにはどんな工夫があるのかを考えてみませんか。

と き	12月4日(日)午前9時～午後3時45分 ※昼食は持参してください。	対 象	市内在住の小学5・6年生		
ところ	保健福祉センター 4階 シアタールーム	定 員	先着15人	参加費	無料
内 容	室内・屋外での車いす体験、ふくしマップ作りを通して「ふくし」を学びます。	申し込み方法	社会福祉協議会に電話または直接		
		申し込み期限	11月21日(月)まで		

ボランティアスキルアップ講座 ～オンラインツール初級編～

あさひ健康
マイスター
チャレンジ
対象事業

ボランティア活動などに役立つオンラインツールの操作方法や活用方法を学ぶ場を提供し、ボランティア活動を支援します。今回の講座では、オンライン会議システム「Zoom」の参加方法や基本操作などを学んだ後、実践をします。

ボランティア活動や打合せなどに活用できる「Zoom」について学んでみませんか。

たくさんのかたのご参加をお待ちしています。

と き	12月13日(火) 午前10時～午後3時		
ところ	渋川福祉センター 3階 研修室及び自宅等各自任意の場所		
内 容	「Zoom」の参加方法や基本操作などを学び、午後から、受講者それぞれの自宅等で実践を行います。		
講 師	NPO法人デジタルライフサポーターズネット 理事長 友次進 氏		
定 員	先着10人	参加費	無料
持ち物	ノートパソコン(Windows10以上に限る)または「Zoom」アプリインストール済みスマートフォン(iPhone、Androidいずれも可)、イヤホン、メールアドレス		
申し込み方法	社会福祉協議会に電話または直接	申し込み期限	11月30日(水)まで

地域のサロン活動の立ち上げを応援します!

～あさひ支えあいサロン開設助成事業～

この助成事業は、地域の高齢者やその介護者などの閉じこもりや孤立を防ぐため、集会所・ふれあい会館・個人宅などの場所を活用し、地域の皆さんによる出会いの場づくりを支援します。

【助成対象活動】市内で行う、次の要件のすべてを満たすサロン活動の立ち上げに対し、開設資金を助成します。

- ①実施回数：原則として、月1回以上
- ②活動内容：参加者の実情などに応じた多様な活動
- ③参加者数：概ね5人以上
- ④会場：公民館などの公共施設や個人宅など多様な形態で可
- ⑤参加対象者：活動地域に在住し、交流や見守りが必要と思われる高齢者やその家族など

【助成金額】1か所につき、上限5万円

サロン活動紹介⑪

【桜ヶ丘サロン】

令和3年10月に本事業を活用していただきました。



①活動拠点 ②活動日時 ③参加費 ④活動内容 ⑤目的・特色

①桜ヶ丘集会所 ②麻雀同好会 毎週木曜日 午前9時～正午
名画鑑賞会 第3土曜日 午後7時～9時

③1回100円 ④健康麻雀、名画鑑賞

⑤地域住民が安全・安心で楽しく健康的な日常生活をおくるために、みんなで楽しく交流を図っています。ぜひ皆さんも私たちと一緒に交流を深めませんか。多くのかたのご参加をお待ちしています。

＼高齢者のちょっとした困りごとをお助けします！／

あさひ生活応援サービス

あさひ健康
マイスター
チャレンジ
対象事業

あさひ生活応援サービス事業とは？

ご高齢のかたが、住み慣れた地域でその人らしく安心した生活を送ることができるよう、日常生活上のちょっとした困りごとを解決することを目的とした、互助の精神を基調とする住民参加型の非営利の生活支援活動です。

どんな援助が受けられるの？

家事援助、散歩等外出時の付添い、買い物、話し相手などで、援助の時間は最大で60分間(延長なし)です。ただし、専門知識が必要な介護援助や、サポーターの車への同乗、本人に関わることを以外の援助はできません。

どんな人が利用できるの？

援助を依頼できる人は、「尾張旭市内にお住いの概ね65歳以上の高齢者で援助の必要なかた」です。ただし、要支援または要介護認定を受けているときは、介護保険サービスの利用を優先したうえで、必要と認めた場合に限りです。

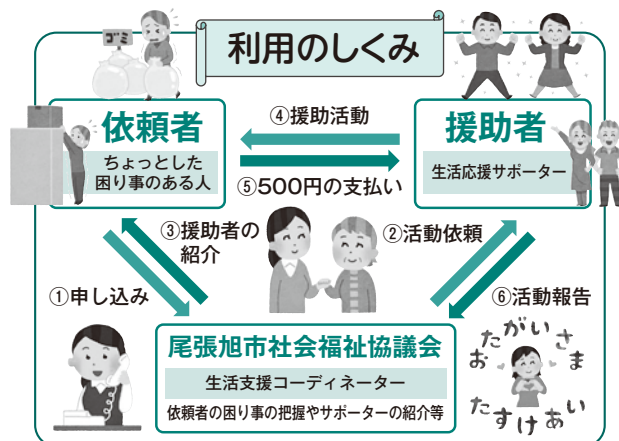
どんな人が助けてくれるの？

本会に登録された「生活応援サポーター」です。

利用するとお金は支払うの？

援助1回あたり500円です。

※利用を希望される際には、お気軽にご相談ください。



【申し込み及び問い合わせ先】 生活支援コーディネーター業務担当(森島・鶴見・吉川) TEL 55-7071(直通)

知るサポだより

No.30

～尾張旭市地域包括支援センター～

デイサービス・デイケアとはどんなところ

デイサービス(通所介護)・デイケア(通所リハビリ)とは、要介護認定を受けたかたが通う介護事業所のことで、身体機能の維持・向上を目指し、機能訓練をしたり、他者との交流を通して社会的孤立感の解消や認知症予防を図るところです。また、介護者(家族)の身体的・精神的負担の軽減も目的とされています。

尾張旭市では、30か所のデイサービスと3か所のデイケアがあります。その他にも瀬戸市、守山区、長久手市などの近隣の事業所も一部利用することができます。介護保険が始まったころとは違って事業所も増え、内容も変わってきています。要支援のかたも介護予防のために利用されています。お試し体験を行うことができますので、迷っているかたは、まずは何か所か試してみましょう。

1日型のデイサービスでは、食事や入浴・機能訓練やレクリエーションなどを行って楽しく過ごすことができます。一人暮らしや日中独居のかたには特にお勧めです。半日型(約3時間)のデイサービスは、一般的には入浴や食事サービスはなくトレーニングマシンを使って機能訓練を中心に行っており、リハビリの専門職が配置されているところもあります。足腰の筋力をアップしたいかたにお勧めです。デイケア(医療法人が運営)では、医療的ケアの対応や理学療法士や作業療法士などの専門職が配置されリハビリを行っており、入院中に行ったりリハビリを退院後も続けたいかたなどにお勧めです。担当のケアマネジャーに相談し、

自分に合ったデイサービス・デイケアを紹介してもらいましょう。

100年食べて100年笑うために～お口の健康から身体の健康へ～

「オーラルフレイル(口腔機能の衰え)」を知っていますか。口に関する“ささいな衰え”を見落とすと、口の機能低下、食べる機能の障がい、さらには心身の機能低下へと続く“負の連鎖”につながります

《オーラルフレイルチェック》

- ☐ 半年前と比べて、堅いものが食べにくくなった(はい2点)
 - ☐ お茶や汁物でむせることがある(はい2点)
 - ☐ 義歯を使用している(はい2点)
 - ☐ 口の乾きが気になる(はい1点)
 - ☐ 半年前と比べて、外出が少なくなった(はい1点)
 - ☐ さきいか、たくわんの堅さの食べ物を噛むことができる(いいえ1点)
 - ☐ 1日に2回以上、歯を磨く(いいえ1点)
 - ☐ 1年に1回以上、歯科医院を受診している(いいえ1点)
- ※点数が合計3点以上は「オーラルフレイルの危険性あり」で、専門的な対応が必要です。かかりつけの歯科医に相談するなど、早めの対策をとりましょう。

《オーラルフレイル予防》

・頬の運動

- ①右頬を大きくふくらませる
- ②つぎに左頬を大きくふくらませる
- ③両頬をすぼめる

※①～③を繰り返す

・あいうべ体操

- ①お口を「アー」と大きく開く
- ②お口を「イー」としっかり伸ばす
- ③お口を「ウー」としっかりすぼめる

TEL 55-0654(直通)

④舌の先を下顎の先まで伸ばす気持ちで「べ～」と舌を出す。

※①～④を繰り返す

・早口言葉に挑戦!

初級:裏庭には二羽 庭には二羽

にわとりがいる

中級:骨粗しょう症 訴訟 勝訴

上級:新春そうそう

新人シャンソン歌手による

新春シャンソンショー

・本気でカラオケ!

あえて口の周りの筋肉に力を入れ続けるように本気でカラオケを歌いましょう。可能であれば汗が出るくらいの本気で、なるべく高い音域の曲に加えて、早いテンポの曲なら理想的です。

人生100年時代。100年食べて100年笑うために「オーラルフレイル」を予防しましょう。

特殊詐欺に注意しましょう!

警察官を名乗る人や覚えのない会社から不審な電話がありませんか?

「クレジットカードが悪用されている」、「家の屋根が古く危険である」、「ガス点検が必要だ」といった内容で不安をあおり、言葉巧みに相手を安心させ、カードを預かり不正利用したり、本来は不要な修繕工事を契約させて法外な料金を請求するといった詐欺の手口が増えていきます。

怪しい電話に出ないために、留守番電話設定・自動通話録音機の設置・迷惑防止機能付き電話機の設置が有効です。

不審な電話や訪問があった際は、その場で返事をせず、家族や警察に相談しましょう。

また、万一、大事な情報を伝えてしまったとしても、金融機関への連

絡など、すぐに対処することで被害を防ぐことができることがあります。

普段から、家族や友人・関係者と「防犯」をテーマに話し、もしもの時の対応策を考えておきましょう。

認知症サポーター養成講座を開催します

地域で暮らす多くのかたが認知

症を正しく理解し、認知症のかたやその家族をあたたかく見守り支え合えるまちにしていいため、認知症サポーター養成講座を開催します。講座では動画の視聴を交えて、認知症の症状やその対応をわかりやすく説明します。

認知症になっても安心して暮らし続けることができるまちになるよ

う、皆様のご参加をお待ちしています。

○開催日時

令和4年11月19日(土)
午前10時～11時30分

○場所

中央公民館 3階 302会議室

○問い合わせ先

地域包括支援センター

介護のヒントがここにある!家庭介護教室を開催します

あさひ健康
マイスター
チャレンジ
対象事業



高齢者を介護されている家族などが、介護に関する知識や技術を学ぶとともに、介護の不安解消を図り安心のある生活を支援することを目的に家庭介護教室を開催します。

介護の「ヒント」や「不安解消」にぜひご参加ください。

と き	11月5日(土)午前10時～正午		
と ころ	保健福祉センター 4階 シアタールーム		
講 師	愛知医科大学 看護学部 准教授 荻野朋子 氏		
テ ー マ	ひとりで抱え込まない介護 ～寝たきり・寝かせきりにさせない介護～		
内 容	講義・演習		
定 員	20人(先着順)	参 加 費	無料
申し込み方法	社会福祉協議会に電話または直接		

判断能力に不安のあるかたに『日常生活自立支援事業』がお手伝いします

○対象者

認知症、知的・精神障がいなどの理由で、契約などの判断をすることやお金の出し入れ・書類などの管理が不安なかた

○援助内容

- ①福祉サービスの利用支援(利用料の支払い、手続きなど)
- ②日常的な金銭管理(生活費の出し入れ、公共料金の支払いなど)
- ③通帳や印鑑などの預かり

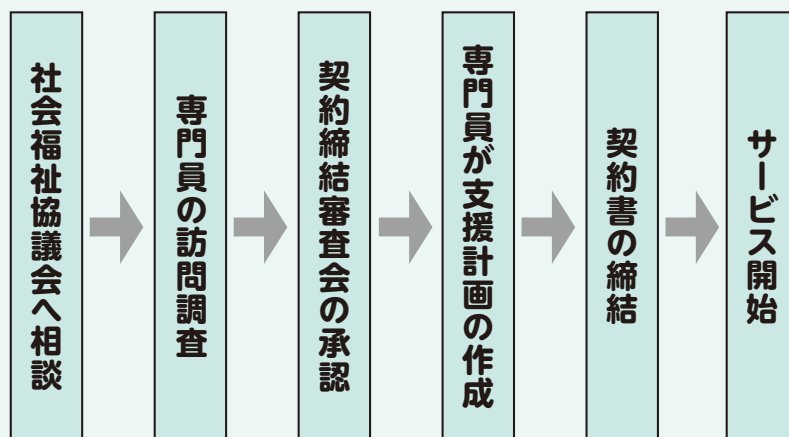
○利用料 1回1,200円

(ただし、③の支援は月額250円)

○申し込み及び問い合わせ先

社会福祉協議会

<日常生活自立支援事業利用までの流れ>



○担当の生活支援員が訪問して支援

○支援回数は月に概ね1～2回

食品をご寄付いただきありがとうございました!

6月20日(月)～26日(日)に実施しました「ご家庭に眠っている食品大募集!(フードドライブ事業)」にご協力いただきありがとうございました。7日間の募集期間で、たくさんの食品が集まりましたので感謝申し上げますとともに報告いたします。

ご寄付いただいた食品は6月27日(月)にフードバンク事業を担う認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋へ提供しました。

集まった食品 合計447.2kg(米98.5kg、米以外348.7kg)

〈ご寄付いただいた食品の種類と点数〉

食品の種類	点数(点)
米	24
缶詰	42
インスタント食品、レトルト食品	136
調味料各種	39
乾物(乾麺、海苔、豆など)	39
飲料(お茶、ジュース、コーヒーなど)	190
その他	58
合 計	528

次回は、令和4年12月12日(月)～18日(日)の実施を予定しています。引き続きのご協力をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症に伴う社会福祉協議会(関係団体含む)の事業について

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、できる限りの対策を講じながら各種事業を行います。今後の状況の変化によっては内容を変更する場合や、開催を延期または中止する場合がありますので予めご承知おきください。

※記載の内容は記事編集時点でのものです。最新の情報は、本会ホームページをご覧ください。

「社協だより 尾張あさひ」 〔広告掲載のご案内〕

社会福祉協議会の広報紙「社協だより 尾張あさひ」に広告を掲載してみませんか?

令和4年度冬号(1月発行)に掲載の広告を募集します。

問い合わせ先 社会福祉協議会
電話 54-4540

※広告の1枠の大きさは、縦6cm、横8.5cmです。ただし、2枠、4枠分の大きさで掲載することもできます。

慶弔のお返しを 福祉のまちづくりに

社協では、香典返しの一部をご寄付いただいたかたに対し、礼状と封筒の作成、宛名書きをいたします。詳しくは、お問い合わせください。

こんなとき、こんなお金をぜひ、**社会福祉協議会**へご寄付を!!

- 福祉のために役立てようと思ったとき
- 会社や商店の開設、開店などの記念事業の一部
- お祝い事、香典の一部
- 同窓会などの残金、各種チャリティーバザー

善意のご寄付ありがとうございます

「福祉に役立ててください」と、たくさんの善意が寄せられています。皆さんにご報告するとともに、厚くお礼申し上げます。

■一般寄付

6月22日～8月24日 (順不同)

寄付者名/寄付金額(単位:円)	
ユニー株式会社 ピアゴ印場店 “小さな善意で大きな愛の輪”運動 様	38,726
三郷中部会 様	5,000
尾張旭ライオンズクラブ 様	10,000
尾張旭市ゴルフ協会 様	43,000
名古屋ヤフルト販売株式会社 様	28,080
愛知県鮎商環境衛生同業組合尾張旭支部 様	305,000
匿名(1件)	84,660

■物品寄付

寄付者名/物品名	
たいようの会 様	ぞうきん50枚
イトーヨーカドー尾張旭店 様	雑貨11点
匿名(7件)	紙おむつ48袋

※物品の状態によっては受け取りできない場合がありますのでご了承ください。